

TOTO

サーモスタットシャワー金具・バス水栓

TMY5型
TMY7型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただけ、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意		
	湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。	
	この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しないでください。 故障や水漏れの原因になります。	

注意		
	フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓を閉めてから行ってください。 また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認してください。 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。 使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。	
	クリックタイプ 必ず調圧弁を取り付けてください。 調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れし家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	凍結が予想される場所でご使用になる場合は、配管部に保温材を巻いてください。また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください。 部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 仕様

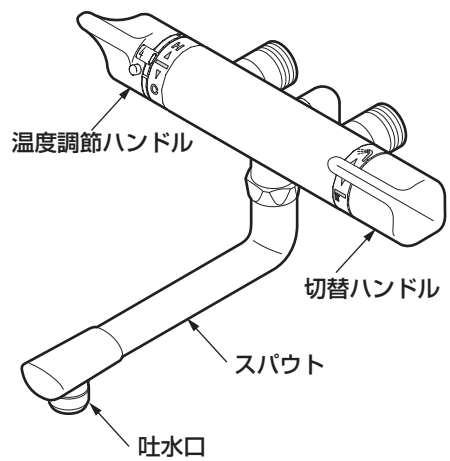
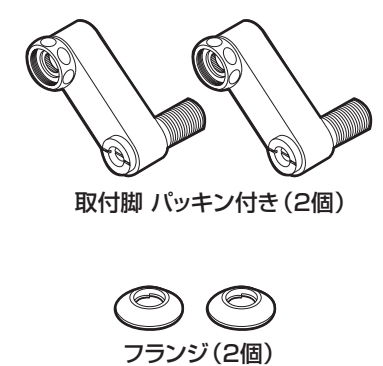
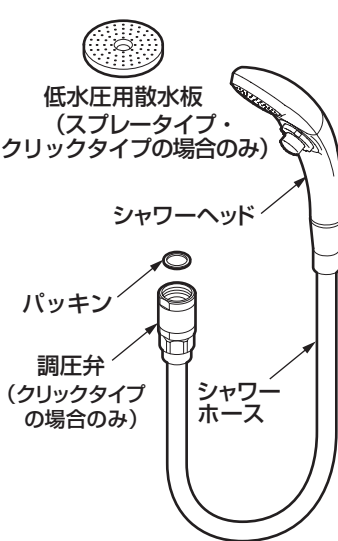
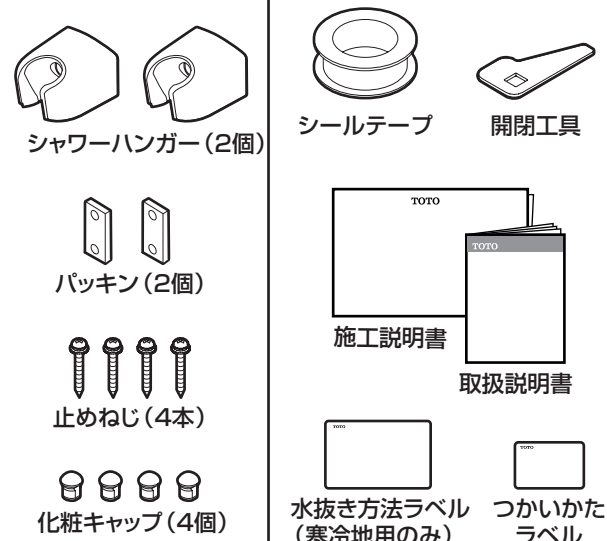
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa (流動圧) (クリックタイプ・ワンダービートの場合は0.07MPa)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧) (低水圧用散水板使用の場合は0.3MPa)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅浴室用

3 取付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	取付脚部
	 <p>取付脚 パッキン付き (2個)</p> <p>フランジ (2個)</p>
シャワー部	その他
	 <p>シャワーハンガー (2個)</p> <p>シールテープ</p> <p>開閉工具</p> <p>パッキン (2個)</p> <p>施工説明書</p> <p>取扱説明書</p> <p>止めねじ (4本)</p> <p>化粧キャップ (4個)</p> <p>水抜き方法ラベル (寒冷地用のみ)</p> <p>つかいかたラベル</p>

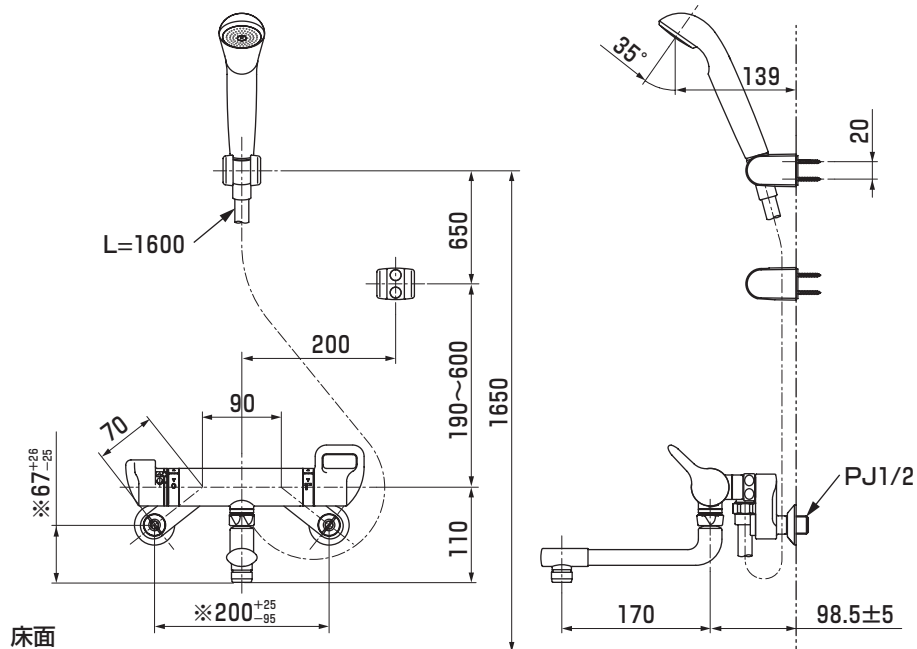
※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

5

完成図

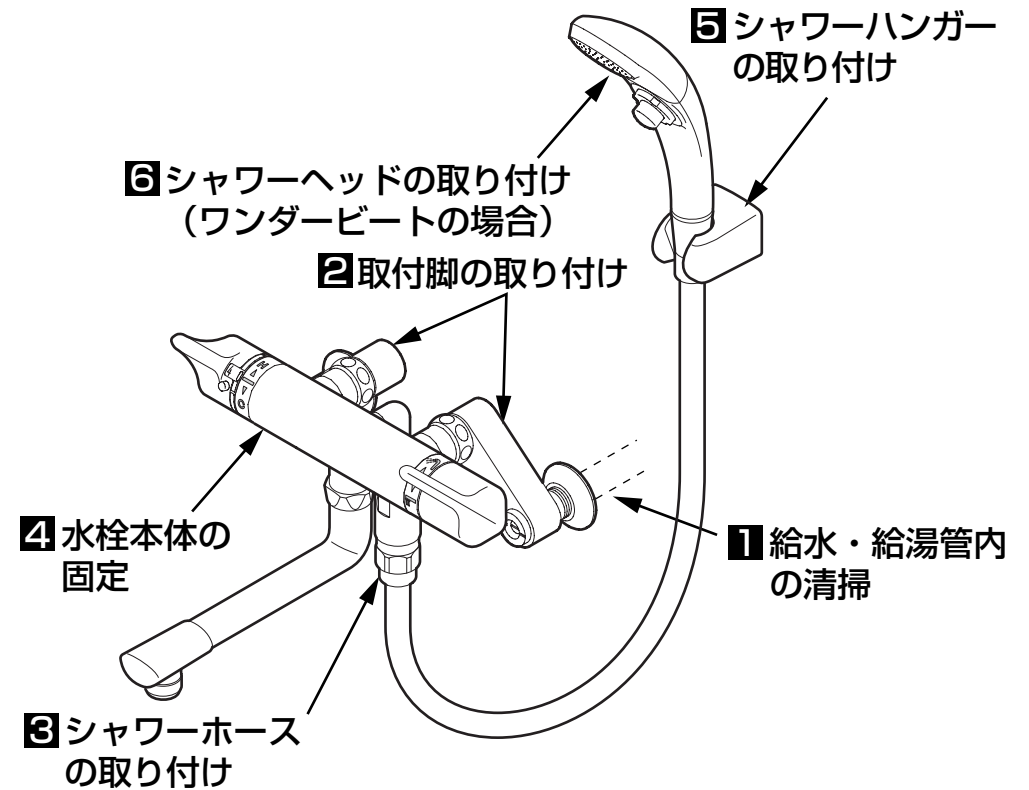
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

※印は配管ピッチが(標準^{最長}
最短)の場合です。



6-1

施工手順



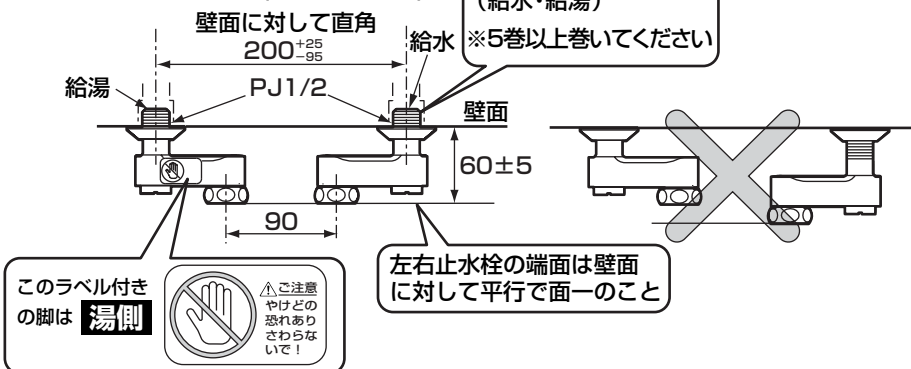
1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

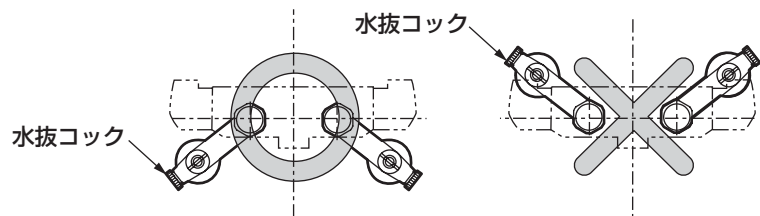
重要

2 取付脚の取り付け

取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)



※寒冷地用の場合は取付脚の水抜コックが本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取り付けてください。



3 シャワーホースの取り付け

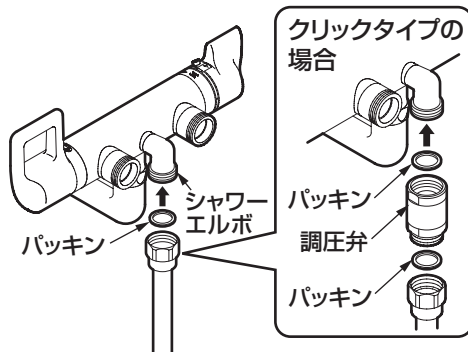
シャワーホースを図のように取り付けます。

注意

●パッキンが入っていることを確認してください。

●クリックタイプの場合、必ず調圧弁を取り付けてください。

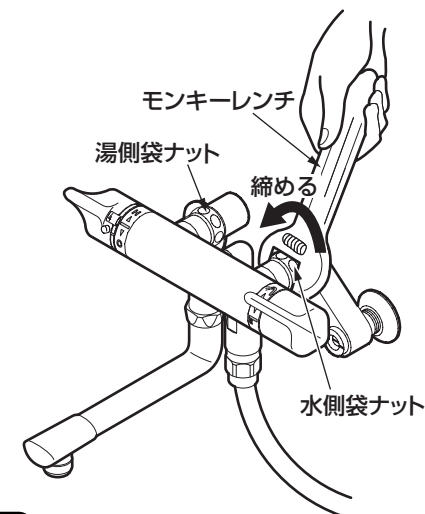
調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。



※調圧弁の取り付けはタオルなどでねじ部を覆い、必ず手締めで確実に締め付けてください。

4 水栓本体の固定

- ①水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。



注意

●ゆるみがないようにしっかり締めてください。

袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

●取付脚は回さないでください。

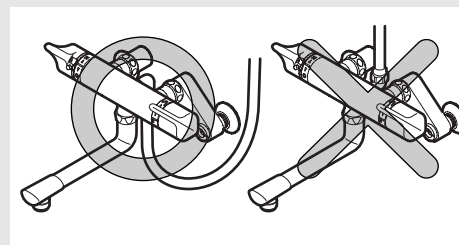
配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。

●パッキンが入っていることを確認してください。

パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

●シャワーホースを取付脚の下から取り出してください。

上から取り出した場合、ホースの折れや破損の原因となる場合があります。



裏面へつづく

6-3

5 シャワーハンガーの取り付け

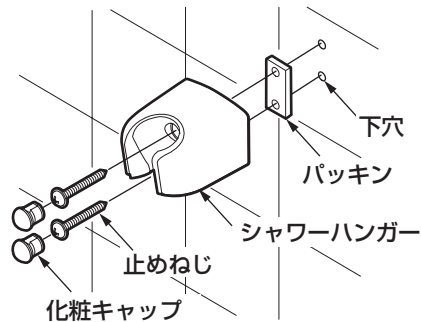
①下穴を開ける。

※取付位置は「5 完成図」を参照

②パッキンをシャワーハンガーの裏面に貼る。

③止めねじでシャワーハンガーを固定する。

④化粧キャップをねじ穴に確実に押し込む。



6 シャワーヘッドの取り付け (ワンダービートの場合)

●パッキンにキズをつけないように注意してください。

●シャワーヘッドはプラスチック製です。ねじをつぶさないよう十分気をつけてねじ込んでください。

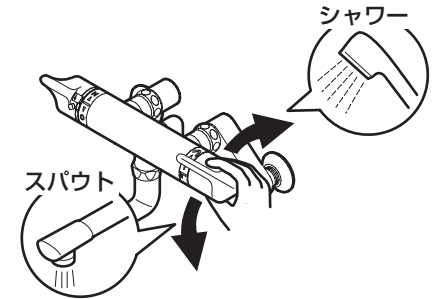


7-1

施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトおよびシャワーから水が出るか確認してください。

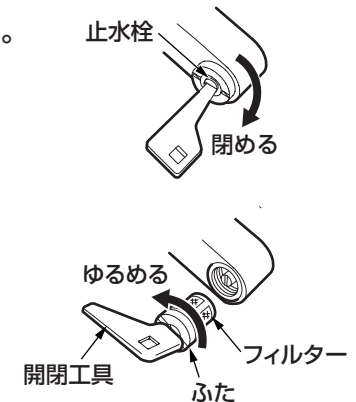


2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。

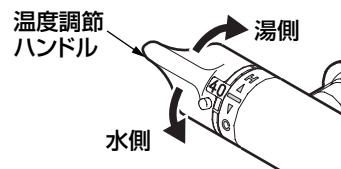
※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、開閉工具でふたを外してください。また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



3. 流量の調節

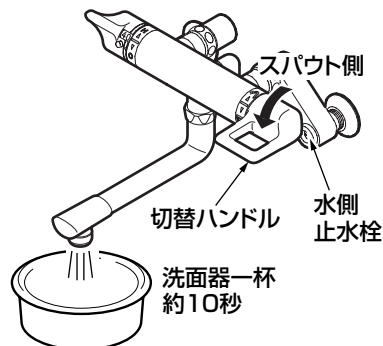
切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で**止水栓**を調節してください。

1. 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱい回し、切替ハンドルを下に回す。

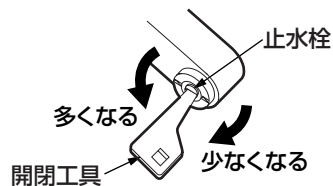


2. 流量が20L/分程度(洗面器一杯にするのに約10秒弱)になるように水側止水栓で調節する。

※時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。



3. 温度調節ハンドルを安全ボタンを押しながら上(湯側)いっぱい回し、2.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



⚠ 注意

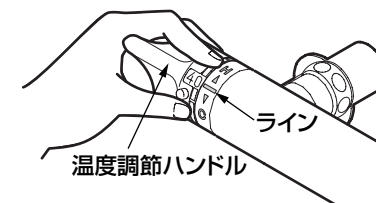
湯側の調節を行うときは十分注意してください。
必ず実行 熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

4. 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の給湯温度を設定する。

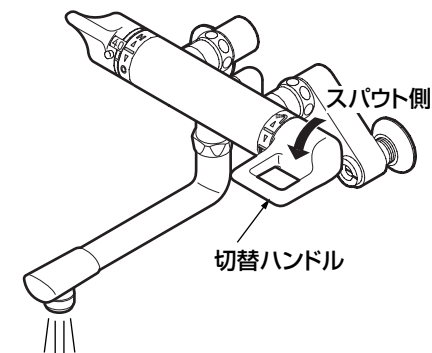
給湯機の給湯温度は吐水温度より10℃以上高く設定してください。



2. 温度調節ハンドルの目盛り "40" をラインに合わせる。

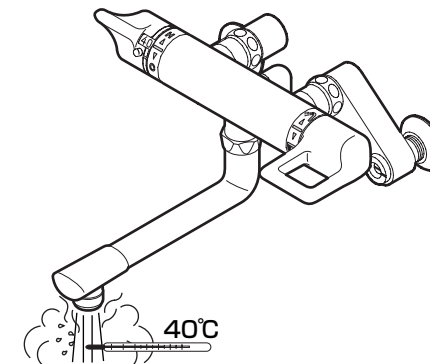
3. 切替ハンドルを下いっぱい回す。

スパウトから水が出ます。



4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が適温(およそ40℃)であればそのままご使用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、次項を参照し、設定し直してください。

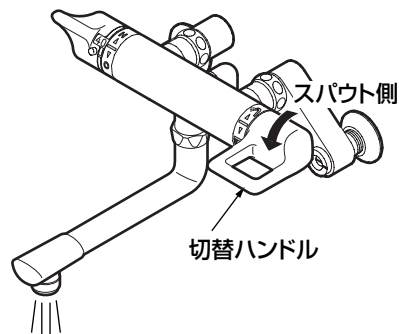


5. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。

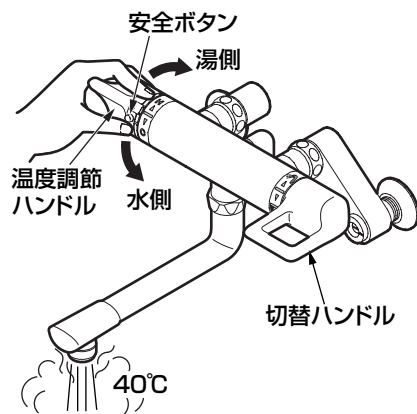
1. 切替ハンドルを下いっぱい回す。

スパウトから水が出ます。



2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく40℃の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜き取ってください。

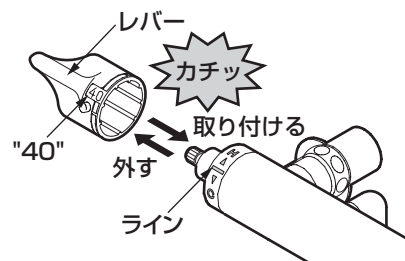


豆知識

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部分を軽くたたいてください。

4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

目盛り"40"の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

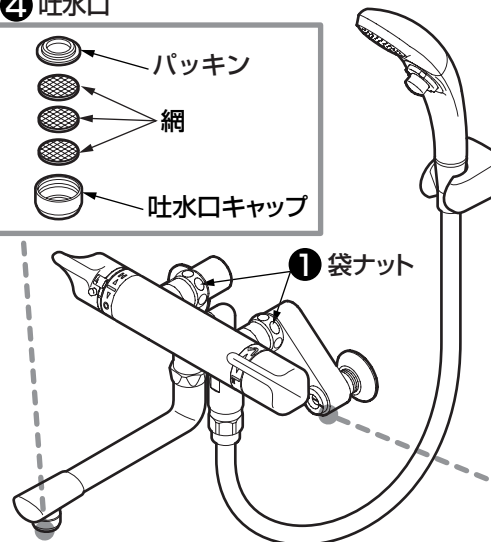
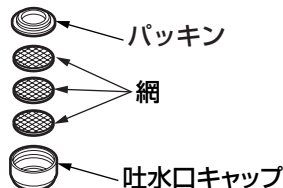


5. 固定後に40℃の湯が出ているか確認する。

点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

4 吐水口

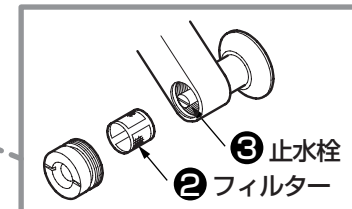


ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

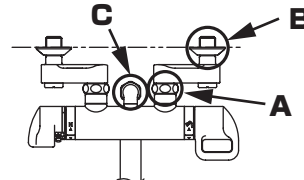
① 袋ナットのゆるみはないですか？

➡ 6-2-4 「水栓本体の固定」参照



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどが無いことを確認のうえ、再度シールトープを巻き取り付け直してください。

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

② フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ 7-1 2. フィルターの掃除 参照

③ 止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。

7-2 3. 流量の調節 参照

④ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。

9

寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。

1. (クリックタイプの場合)
シャワー開閉ボタンが“開”の状態になっていることを確認する。
2. 配管部の元栓を閉め、水抜栓(配管部)を開ける。
3. 切替ハンドルを下いっぱいに戻す。
4. 水抜コック(3カ所)をすべて開ける。
5. 温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱい回して水を抜く。
6. スパウトから水が出なくなったら、下(水側)いっぱい回して水を抜く。
7. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルを上いっぴいに回す。
8. シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース内の水を抜く。
9. シャワーヘッドを振って中の水を抜く。
10. 水抜き完了後は必ず水抜コックを閉めて、切替ハンドルのレバーを水栓本体のラインの位置(水が出ない状態)に戻す。

